

圏域	総人口	高齢者人口	高齢化率	認定者数	認定率	介護老人福祉施設入所申込者数(24.7.1現在)	介護老人福祉施設入所申込者数(25.1.1現在)
1 城北	19,102	5,207	27.3	1,105	21.2	114	122
2 城東	23,067	5,570	24.1	1,308	23.5	149	139
3 城西	20,371	5,304	26.0	981	18.5	113	101
4 雄志	7,555	1,996	26.4	436	21.8	66	50
5 八千浦	4,163	1,099	26.4	238	21.7	24	32
6 直江津	18,544	5,059	27.3	1,043	20.6	137	119
7 直江津東	18,377	3,688	20.1	788	21.4	96	88
8 潮陵	1,920	693	36.1	143	20.6	11	12
9 春日	21,129	3,549	16.8	694	19.6	84	86
10 安塚	3,013	1,209	40.1	248	20.5	23	22
11 浦川原	3,816	1,164	30.5	283	24.3	40	46
12 大島	1,958	843	43.1	178	21.1	35	34
13 牧	2,373	1,002	42.2	212	21.2	34	34
14 柿崎	10,875	3,354	30.8	692	20.6	99	91
15 大潟	10,089	2,690	26.7	530	19.7	67	66
16 頸城	9,791	2,173	22.2	457	21.0	66	68
17 吉川	4,901	1,609	32.8	358	22.2	80	71
18 中郷	4,405	1,356	30.8	262	19.3	31	31
19 板倉	7,601	2,260	29.7	424	18.8	55	51
20 清里	3,118	916	29.4	198	21.6	23	25
21 三和	6,177	1,640	26.6	381	23.2	39	43
22 名立	2,979	1,027	34.5	222	21.6	18	13
	205,324	53,408	26.0	11,181	20.9	1,404	1,344

※総人口、高齢者人口、高齢化率、認定者数及び認定率は、平成23年10月1日現在。

なお、認定者数は特別養護老人ホームに入所している人を除く。

「評価項目の是正を行い、第6期介護保険事業計画の実施においては、全準備となし、十分注意を要する」として、特別養護老人ホームの設置は、地域協議会、地域均衡を生かすことを目指す。

上越地域消防事務組合の定例議会が7日、上越市役所で開かれました。主な議題は昨年度の決算の認定と一般会計予算の補正及び関連条例の一部改正です。

昨年度の決算審査で私は、昨年度の途中から導入された消防署所での大気中の放射線量の測定と消防車両等の更新について質問しました。このうち、放射線測定については、「1日に1回の測定ではいざという時に間に合わない。例えば、午前9時に測定して、(大きな事故が起きて)放射線が午前10時、11時に来たとしても翌日までわからない可能性がある」と指摘し、改善を求めました。

これに対して浅野消防長は、「指摘のように午前9時に観測をして10時に大量の放射能が流れてきたらどうするか(という問題はある)。そこら辺は市の担当とも話をして回数を増やすことを考えていきたい」と答えました。今後の動きに注目です。

消防署での大気中の放射線量の測定、改善に向け検討へ



【ゴマナ】漢字で「胡麻菜」と書きます。キク科の多年草です。花は真ん中が黄色く、まわりの舌状花は白色。日当たりのいいところを好むようです。たくさんの花がついていることが多いので、目立ちます。板倉区の光が原で4日撮影。

特養ホーム整備の地域格差是正を視野に評価項目の是正を 厚生常任委員会が介護老人福祉施設整備事業者募集要項などで市長に申し入れ

上越市議会厚生常任委員会(柳沢周治委員長)は8日、第5期介護保険事業計画に基づく特別養護老人ホーム設置経緯について村山市長に申し入れを行いました。

申し入れの内容は、先月11日と7日の厚生常任委員協議会での議論を踏まえたもので、介護施設整備等検討委員会による審査について、本年2月に評価ポイントを変更し、あらたに「介護老人福祉施設入所申込者が多い圏域での整備」を加点評価項目としたことを批判、

春よ来い 第二七四回 偶然の再会

安塚区出身のヨシハルさんは長野市豊野町在住、私は上越市吉川区在住です。距離は約六〇キロもありますし、生活圏も違うので、この二人が連絡し合うことなしにばったり会うことはめったにないことです。

数十年ぶりにヨシハルさんと再会したのは九年前の秋でした。中越地震の後片付けのボランティアとして川西町(当時)の体育館脇で仕事をしていた時です。一緒にゴミの分別作業をしていた人たちが長野県からやってきたというので、仕事が終わって、さあ帰ろうという段階になって、一人の白髪の人に、「じつは、私の友人に安塚町から豊野町に移った人がいてね」と話したら、なんと、話しかけた相手の人がヨシハルさんその人だったので。驚いたことは言うまでもありません。

それから、またずつと会うことがなかったのですが、先日、たまたま安塚区の食堂にいたところ、息子さんとともに店に入ってきたヨシハルさんにばったり会いまして。ちょうど、たまには会いたいなと思っていたところに本人が現れたもんですから、いやー、びっくりするやら、うれしくなるやら……。

ヨシハルさんはこの日、コメをもらうために安塚へやってきたのでした。私のいたテーブルに座ると、味噌ラーメンを注文し、その後、溜まりたまっていた話を次々としてくれました。じつは九年前に川西町で再会した時は帰り際だったので、ろくに話ができなかったのです。

私が乳搾りの仕事をはじめた頃、ヨシハルさんは菅沼で専業農家として頑張る決意をしていました。田んぼは全部で一町五反ほどでしたが、百五十枚もの小さな田んぼでだいぶ苦労したようです。でも、稲作を始めて数年後、米の検査員から、「これは誰が作ったんだ」と言われるほど出来のいいコメを作ったことがあり、その時は、収量もあって、いつもよりも二、三十万円ほど多い収入があったとうれしそうに語りました。やはり、稲作農家の出身ですね。

ヨシハルさんとは三十数年前からの付き合いです。私が菅沼の家へ行ったこともありますし、わが家に来てもらったこともあります。

私が初めて町議選に出馬した時でした。お連れ合いがウグイス嬢をやってくれ、ヨシハルさんは候補者カーの運転手をしてくださったのだそうです。じつは、候補者の私はまだ二八歳、とても緊張していたようで、誰が運転してくださったのかまったくといってよいほど憶えていないのです。ヨシハルさんによると、私のポスターは似顔絵で、しかも草刈り鎌を片手に持っていたといっています。確かに当時、私は似顔絵を描いていましたし、そのポスターは間違いなく私が描いたものでした。

私についてのヨシハルさんの記憶は町議選のことばかりではありませんでした。「橋爪さん、昔はすんなりしていて、長距離ランナーだったよね、しかも早かった」と語ってくれました。「早かったかどうか」は別として、よくそんなところまで憶えていてくれたものだと感じてしまいました。

ヨシハルさんにとって安塚は生まれ育った故郷です。長野へ出て故郷への愛着は強く、心から離れることがないのでしょう。この日も息子さんとともに二時間かけてやってきて、自分の家の畑にあるクリや柿を収穫していききました。息子さんは昔のことを話す父親の言葉を黙って聞いていましたが、表情はうれしそうでしたから、彼もまた安塚生まれだったのかも知れません。どうあれ、ばかうれしい再会でした。

上越消防職員の給与削減。県内では削減しない本部も。

7日の上越地域消防事務組合定例議会で一番議論になったのは職員給与削減です。組合には288名の職員がいますが、本年10月から来年3月まで一人当たり21万5635円(共済費

含む)削減するというのです。「国の要請に相応する職員人件費の減額」との説明でしたが、国が直接消防組合に要請した事実はありませんので、「地方交付税削減のあおりを受けての措置」ということです。上越地域消防事務組合職員の給与は上越市職員の給与関連条例が準用されることになっていて、すでに市役所職員の給与削減が決まったことから今回、提案されました。

今回の削減については、国の地方交付税削減に伴い、やむを得ないものとして受けとめている人もいますが、消防職員の給与まで削減するのは理解できませんでした。私は、削減により職員の生活を脅かし、地域経済にマイナスの影響を与えること、職員の理解を得る努力が十分されていない中での提案であることを指摘して反対しました。結

果的には賛成は7議員、反対は私を含む3議員で、関係議案は可決されました。(下の写真は質問中の私)

この日の私の質疑で、他消防本部の状況が明らかになりましたが、県内の19の消防本部中、削減を決めたところは柏崎市消防本部など7本部だけで、未定が7本部もあります。また、実施しない、あるいは実施しない方向で検討中のところが糸魚川市消防本部、魚沼市消防本部、阿賀町消防本部など5本部にも及んでいます。こうなると、上越市の職員給与の条例を準用する仕組み自体にメスを入れる必要がありそうです。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果(測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常の範囲は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だということです。

	10月2日(水)	10月9日(水)
上越南消防署	0.030	0.030
上越北消防署	0.050	0.047
新井消防署	0.050	0.043
頸北消防署	0.043	0.050
頸南消防署	0.040	0.040
東頸消防署	0.043	0.047
高士分遣所	0.050	0.056
名立分遣所	0.043	0.047

